

チセをモチーフ 白老交番開所式

改築が進んでいた苫小牧警察署白老交番（東町1-4-18）の開所式が3月14日に行われました。3月11日から業務に入っています。屋根や外壁はアイヌ民族のチセ（家屋）がモチーフになっています。

建物は木造2階建て、床面積は約200㎡。住民との交流スペースとなるコミュニティルーム、女性警察官の配置を見据えた女性用の休憩室などを備えています。

開所式では苫小牧署の久田悟署長が「勤務員一同、きょうの感激を忘れることなく、安全で安心して暮らせる白老町の実現に全力を尽くしたい」と式辞。大塩英男町長、小西秀延町議会議員、戸田安彦道議会議員が「交番の方々にご尽力いただき、ともに住民の安全・安心を守っていききたい」などと祝辞を述べました。最後に同交番の細川義彰所長が「交番は地域の皆さまの安全と平穏を確保するための拠点、安全・安心のよりどころとして重要な役割を担っています。犯罪・事故のない安心して暮らせる地域を実現し、皆さまの期待に応えられるように決意新たに業務にまい進する所存です」と決意表明しました。

7人が配置されている白老交番は虎杖浜、竹浦、北吉原・萩野を除く白老地区を担当。平成5年に改築された旧交番は老朽化の改築のため、昨年1月から日の出町3に仮設交番が設置されていました。



春の火災予防運動

■運動期間：4月20日(土)～30日(火)

全国統一標語 「火を消して 不安を消して つなぐ未来」

空気が乾燥し火災が発生しやすい季節を迎えました。

近年、リチウムイオン電池による、発熱発火が原因の火災が急増しています。

リチウムイオン電池は、スマートフォン、タブレット端末、モバイルバッテリーなど身近にあるさまざまな商品に使用されています。小さくても大容量の電力を蓄えられる反面、取り扱いを誤ると、大きな事故につながる可能性があります。

■火災事例：就寝中、枕元で携帯電話を充電。布団がかぶってしまい、熱がこもり発火。

：フル充電や電池切れが長く続き、バッテリー劣化により、膨張し破裂。

※予防策として、各機器を購入する際は、電気製品の安全性を示す「PSE」マークがついているものを購入しましょう。また、充電端子が熱くなる、「パチッ」と音が鳴る、異臭がするなど異常を感じたら直ちに使用を中止しましょう。

問い合わせ先：消防本部 予防課 ☎83-1119

春の全国交通安全運動実施

■運動期間：4月6日(土)～4月15日(月)

年間スローガン ストップ・ザ・交通事故 ～めがせ安全で安心な北海道～

■重点目標

- ・ 子どもと高齢者をはじめとする歩行者の安全の確保
- ・ 自転車の安全利用の推進
- ・ 歩行者などの保護をはじめとする安全運転意識の向上
- ・ 飲酒運転の根絶
- ・ スピードダウンと全席シートベルト着用

～4月10日(水)は交通事故死ゼロを目指す日です～

問い合わせ先：総務課 防災交通室 ☎85-3080



ポロトミンタラ（白老駅北観光商業ゾーン）大型遊具の利用開始

冬期間閉鎖しておりました大型遊具（ふわふわドーム、クリフクライマー、ブランコ、滑り台）については下記の日程で利用を開始します。

【利用日時】4月13日(土)～10月末（10時～16時）を予定

※ただし、7、8月は17時まで。

※雨天時は利用不可。

※天候状況などにより利用開始日が延期となる可能性があります。



問い合わせ先：白老観光協会 ☎82-2216